

<b>BO4</b> <b>中 級</b> (TV 聴講あり)	<h2 style="margin: 0;">プロの技にせまる特許情報検索法 (Ⅱ)</h2> <h3 style="margin: 0;">～検索スキルの向上～</h3> <p style="margin: 0;">特許調査テーマに沿った検索式立案方法 用語・特許分類 (F I・Fターム) の選定</p>
講師	酒井 美里 (スマートワークス(株) 代表取締役、元セイコーエプソン(株) 知的財産本部)
日程・場所	東京本会場 → TV会場: JPDS 名古屋、大阪、九州各営業所セミナー室 8月24日(火)～25日(水)、12月7日(火)～8日(水)、 2022年3月23日(水)～24日(木)
時間	2日間 (10:00～16:00) // 昼休憩 11:45～12:45
アクセス	<a href="https://www.jpds.co.jp/company/access.html">https://www.jpds.co.jp/company/access.html</a>
定員	東京会場 24名 // TV会場: 各会場共 10名 (先着順申し込み)
受講料	本会場: 30,000円、(税込 33,000円)、TV会場: 24,000円 (税込 26,400円)
対象	特許調査担当の初級から中級者
<b>内 容</b>	
<p>精度の高い特許調査を行うには、調査テーマの明確化が重要なポイントとなります。さらに、技術用語や特許分類の構造はもとより、そのメリット・デメリットを理解した上で、状況に応じて使い分けができることが求められます。</p> <p>本講座では、特許情報のデータベースを知り尽くした特許調査のプロである講師が、日々行っている検索ノウハウを丁寧に解説。調査テーマに則した検索式立案と的確な用語・特許分類の選定プロセスとその検証方法、留意点を学びます。検索スキルの向上を目指す方にお勧めいたします。</p>	
<b>プログラム</b>	
<b>1日目</b>	<b>2日目</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特許調査の基礎知識           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特許調査の流れ</li> <li>・ 特許データベースの基礎知識               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 検索エンジンの挙動</li> <li>➢ 公報データと検索データ</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2. 検索式の立案           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検索全体の流れ ～ 試し検索と本検索</li> <li>・ 「検索結果の精度向上」へ導くための原理と方法</li> <li>・ 調査テーマの明文化 ～ 50文字要約</li> <li>・ 検索項目の注意点               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ キーワード(用語)検索</li> <li>➢ 特許分類を利用した検索</li> </ul> </li> <li>・ 検索精度を上げる手順</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 特許分類を利用した検索           <ul style="list-style-type: none"> <li>～特許分類の詳細～</li> <li>・ 分類全体の注意点</li> <li>・ 日本特許に対する特許分類の付与手順と、分類選択時・検索時のポイント</li> <li>・ F I分類、Fターム分類の基礎</li> <li>・ 特許庁の分類付与手順</li> <li>・ 特許分類付与のルール(特許文献記載事項と解析パターン)を理解した検索の方法。べからず集。</li> </ul> </li> <li>4. 検索式へ展開するコツ・ポイント           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査目的と検索設計の概要</li> <li>・ 特許分類の選び方と検索式作成の例示</li> <li>・ 検索用キーワード 発見手順の例示</li> </ul> </li> </ol>

## 【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

## 【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

## 【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。ただし、TV会場での聴講の場合には継続研修の認定対象外となります。